

2025年 第22週 5月26日～6月1日

西多摩保健所感染症週報

東京都西多摩保健所
Tel 0428-22-6141



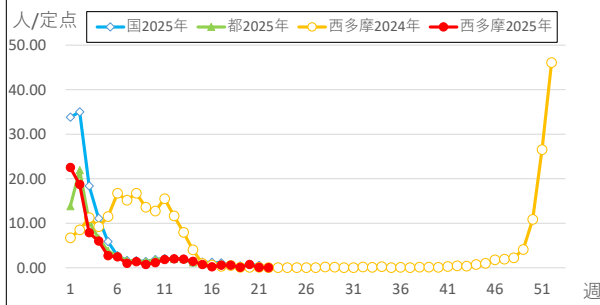
管内の発生動向及び定点把握対象疾患 ()は内訳又は前週値

- 全数届出の疾患は、結核1件（30代男性）、百日咳7件（10代3件、30代2件、40代1件、90代1件）の発生がありました。
- 定点報告は、水痘は1.00（0.25）、伝染性紅斑は、1.88（2.00）で増加傾向です。

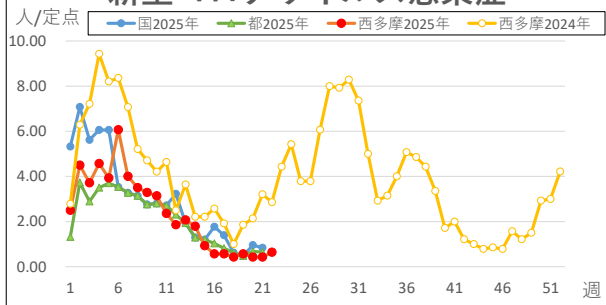
管内の感染症集団発生状況 ()は内訳

- インフルエンザ1件（障害者入所施設）、感染性胃腸炎1件（小学校）の報告がありました。

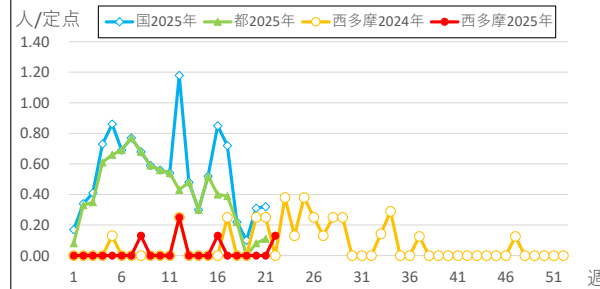
インフルエンザ



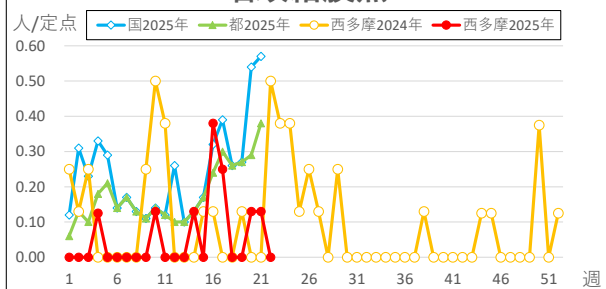
新型コロナウイルス感染症



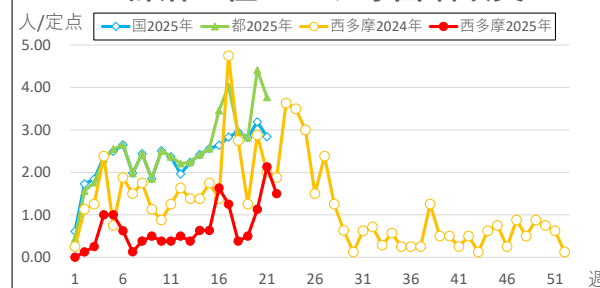
RSウイルス感染症



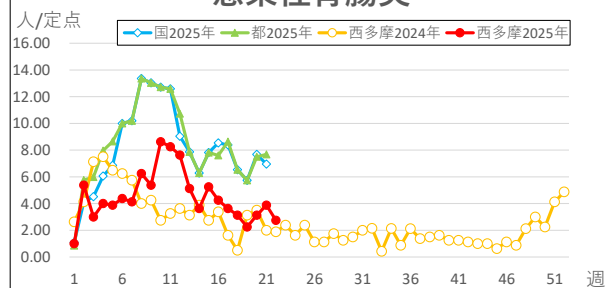
咽頭結膜熱



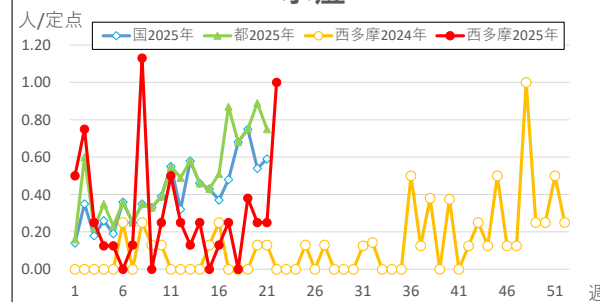
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎



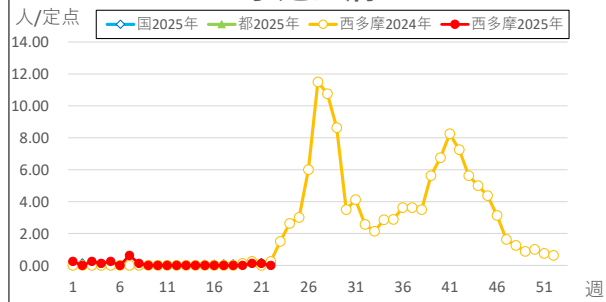
感染性胃腸炎

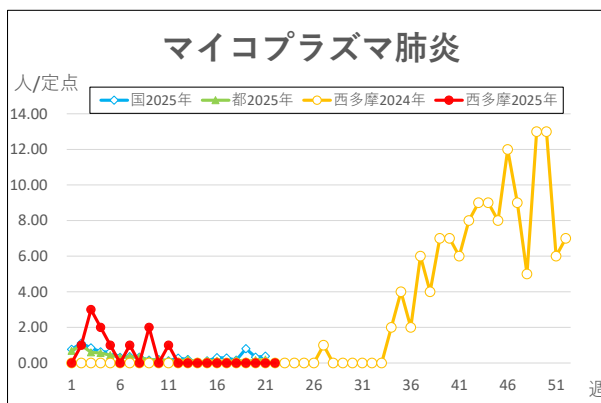
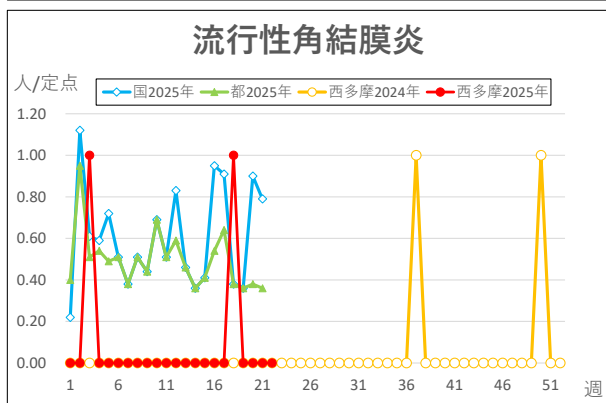
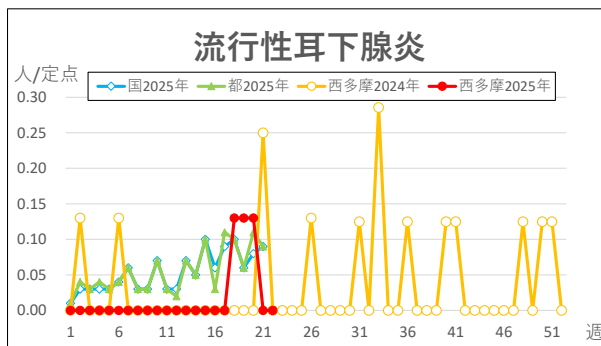
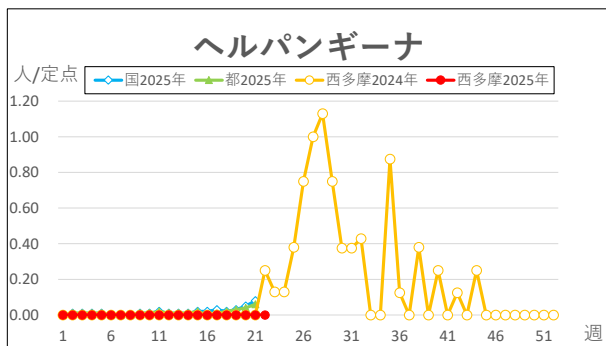
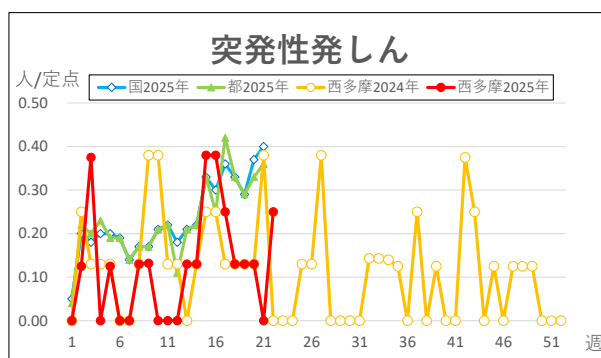
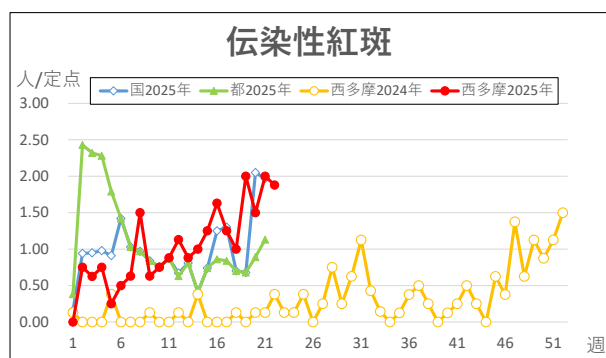


水痘



手足口病



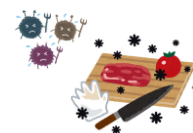


今週のトピックス ～ 腸管出血性大腸菌感染症 ～

ペロ毒素を産生する腸管出血性大腸菌による感染症です。都内での2024年報告数は471件、2025年第1週から第21週までの報告数は64件で、通年で発生しますが夏に増加する傾向があります。

どうやってうつりますか？

感染経路は経口感染です。菌に汚染された食品などを摂取することにより感染します。ヒトからヒトへの感染は、患者の便や菌のついたものに触れた後、手洗いを十分にできなかった場合などに起こります。



どのような症状が出ますか？

感染すると2～9日ほどの潜伏期を経た後に、激しい腹痛を伴う下痢、続いて血便をおこしますが、症状がなかったり軽い下痢程度の方もいます。乳幼児や高齢者が感染した場合は重症化しやすいといわれています。また、発症後約5%が溶血性尿毒症症候群（HUS）や脳症などの合併症を起こすといわれており、時として死亡することもあります。



予防方法はありますか？

汚染食品からの感染が主体であることから、食品を十分加熱したり、調理後の食品はなるべく食べきるなどの注意が基本です。調理や食事の前には必ず手を洗いましょう。とくに乳幼児、高齢者などは重症事例を防止するため、生肉又は加熱不十分な食肉を食べないように配慮する必要があります。

また、ヒトからヒトへの二次感染を予防するために、食事前、トイレ使用後、排泄介助作業の後などには石けんと流水による手洗いを行うことが必要です。



お知らせ

症状がなく、定期的な検便でみつかる場合もありますので、分かった場合はすみやかに保健所へご連絡をお願いします。

※さらに詳しい情報は下記のサイトを御覧ください。

厚生労働省「腸管出血性大腸菌Q&A」

<https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000177609.html>

直近8週間の西多摩保健所管内定点医療機関報告数

	15週	16週	17週	18週	19週	20週	21週	22週	1週目からの累計
新型コロナウイルス感染症	13	8	8	6	8	6	6	9	703
インフルエンザ	10	3	8	8	1	10	1	0	864
RSウイルス感染症	0	1	0	0	0	0	0	1	5
咽頭結膜熱	0	3	2	0	0	1	1	0	10
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	5	13	10	3	4	9	17	12	122
感染性胃腸炎	42	34	29	25	18	25	31	22	784
水痘（みずぼうそう）	0	1	2	0	3	2	2	8	51
手足口病	0	0	0	0	0	1	1	0	14
伝染性紅斑	10	13	10	8	16	12	16	15	178
突発性発疹	3	3	2	1	1	1	0	2	22
ヘルパンギーナ	0	0	0	0	0	0	0	0	1
流行性耳下腺炎（おたふくかぜ）	0	0	0	1	1	1	0	0	3
流行性角結膜炎	0	0	0	1	0	0	0	0	2

○グラフは、5類定点把握対象疾患についての推移を表しています。グラフ縦軸の目盛は定点あたりの患者報告数です。

○管内定点医療機関数は、小児科定点8、内科定点6、眼科定点1、基幹定点1となっています。

○毎週の患者報告数は、管内の定点医療機関から毎週月曜日に報告を受け、週報として木曜日に発行いたします。

○データの出典元は、下記のとおりです、国及び都のデータは1週間遅れで掲載しております。

〈出典〉東京都、西多摩保健所のデータ：東京都感染症情報センター <https://idsc.tniph.metro.tokyo.lg.jp/>

国のデータ：国立感染症研究所 <https://www.niid.go.jp/niid/ja/idwr.html>